

I 事業概要

1. 学校部活動の現況・持続可能性について

八千代市では現在、約170の部活動が市内にあり、その多くは顧問のみで運営している状況である。一部ボランティアによる外部指導者が令和4年度は14名の方が携わっているのが現状である。市内の学校間の生徒数の差が大きくなってから、一部の運動部（野球・サッカー）は合同チームを組織して、大会に参加している状況である。中規模校・小規模校では、多くの部活動の悩みとして部員不足が挙げられており、また、大規模校においては部の適正人数よりも多い部員数がある部活動も存在している状況である。そして多くの学校で部活動の数の縮減は行われておらず、より多くの先生方が部活動の顧問をせざるを得ない状況にある。

また、生徒のスポーツや文化的な活動の多様性やコロナ禍による活動自体の縮小もあってか、部活動に入ることがない生徒も増え、生徒数自体はほぼ変わらないにもかかわらず、運動部活動の加入率はここ10年弱で10%近く減少している。

八千代市教育委員会では休日の地域移行を円滑に行うために、令和4年度に八千代市部活動あり方検討会を組織し、教育次長を長として保健体育課が中心となって、八千代市の部活動の現状や地域移行へのスケジュールの確認、他市区町村の事例研究などを進めてきた。また、八千代市スポーツ協会に対し、令和5年度からの部活動指導員への指導者派遣の可否についてアンケート調査を実施した。ここでは、派遣が可能であると回答した団体は複数あったが、現状の部活動数にあった指導者の派遣は難しく、指導者の確保が課題として浮き彫りとなった。また、教職員へのアンケートも実施した。その中で、地域移行となった場合に指導者を「やりたくない」と回答したのは全体の半分に及んでおり、ここでも指導者の確保が課題として浮き彫りとなった。

八千代市部活動あり方検討会では、地域移行のファーストステップとして、市内でのモデル事業の展開が提案され、各中学校及び義務教育学校長とのヒアリングを行い、各校の部活動の状況を把握するよう努めた。その結果、複数の部活動で休日における地域移行に向けた取組（部活動指導員による指導）を令和5年度から実施していくこととなった。

今後は持続可能な地域移行をするべく、指導者の確保、施設の整備、受益者負担等の保護者の理解等、課題が山積している中で、地域の力を借りながら、教職員、生徒、保護者、地域に丁寧に説明を行いながら、部活動の地域移行を円滑に進めていきたいと考える。

2. 実証事業の実施にあたっての課題

市区町村名：八千代市

課題のひとつとしては、地域指導者の確保がある。教職員の事前アンケートでは約半数が部活動の地域移行に対し指導を望んでいないことがわかった。市スポーツ協会へ指導者の派遣を依頼しているが、今すぐに対応してもらえない専門部は少ないのが現状である。

そのため、地域指導者の負担を軽減し、指導に集中できるようICT等を利活用した、円滑な運営をしていくことで課題の解消につなげていきたいと考える。

3. 対応方針・取組概要について

市区町村名：八千代市

令和5年度に市内4部活動において、部活動指導員を配置し、今後のモデルとするべく事業を実施していく予定である。ここでは、教員・指導者・生徒・保護者から多角的な視点を交えながら、成果と課題を洗い出していく。そこで、本委託事業を活用し、ICTを活用しながら部活動指導員の負担軽減や生徒・保護者の利用のしやすさなどを目指し、スムーズな連絡手段等を構築していく。

4. 達成目標およびその検証方法

市区町村名：八千代市

【目標】

市内にある4つの部活動に配置する部活動指導員について、ICTを用いた外部人材による運営サポートシステムを構築し、地域移行に向けた市のモデル事業として成果と課題を洗い出す。

また、令和6年度から市内の学校1部活以上を地域移行していき、令和7年度末までに、八千代市の地域移行の型を定めていく。

【目標の検証方法】

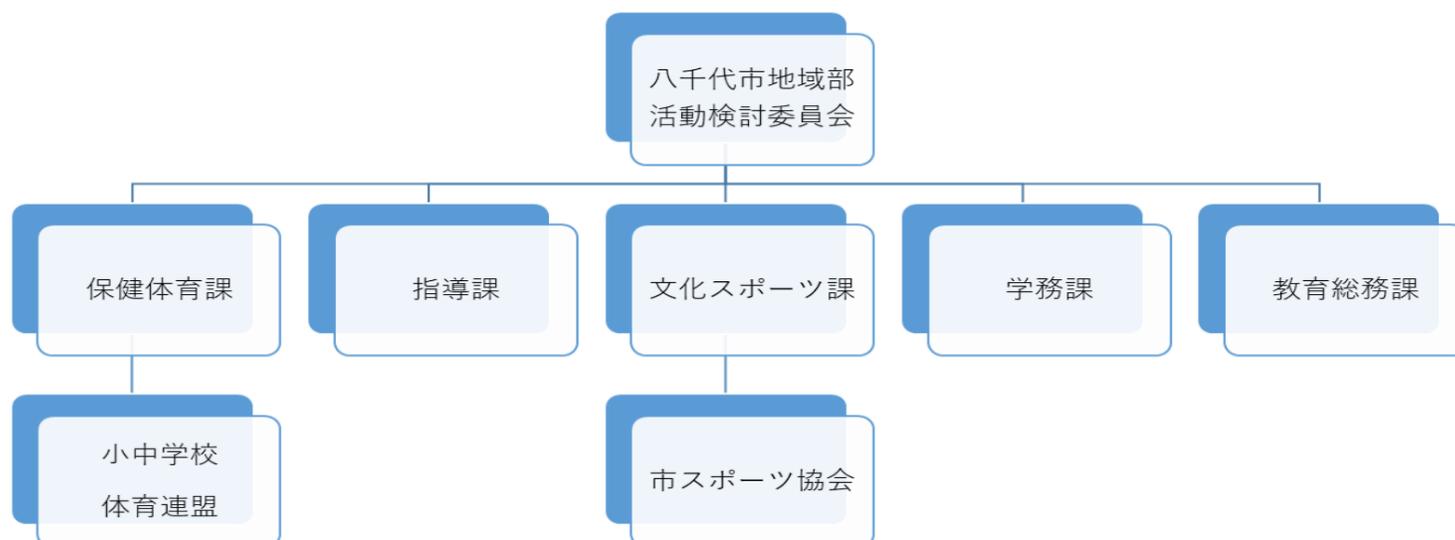
生徒・保護者・指導者向けのアンケートを実施

教員の勤務時間の調査

5. 実施体制

市区町村名：八千代市

【イメージ図】



【地方公共団体内における役割分担】

部署名	関わり方・役割
教育委員会	保健体育課・・・運動部活動の地域移行を組織 指導課・・・文化部活動の地域移行を組織 文化・スポーツ課・・・今後の地域クラブ活動と地域（スポーツ協会等）の連携を組織 学務課・・・教職員の兼職兼業について 教育総務課・・・市内学校体育施設等の整備
首長部局	

【関係団体一覧】

団体名	関わり方・役割
八千代市スポーツ協会	指導者の派遣
八千代市小中学校体育連盟	総合体育大会・新人戦の運営